

委員長賞  
(小学生の部)  
「幸せ」の力

岸和田市立常盤小学校6年  
水内 柚良 さん

私は、よくニュースや新聞を見ます。そのニュースや新聞にでてくる犯罪者について書かれているところを見ると、いつも思うことがあります。それは（何故こんなことができるのだろう。冷静に考えればいいのに。）と、犯罪者の考えが全く理解できませんでした。

でも、犯罪者の家庭の事情や人間関係について調べてみると、犯罪を犯してしまう人の多くは、職場での人間関係がうまくいかなかったり、お金がなくてこの社会でうまく生きていけないことが分かって、もし私がこのような環境に生まれ育って、このような状況にいたら私も犯罪・非行に手をそめていたかもしれないと思うとゾッとしました。

そして、一度犯罪を犯した人が立ち直るためには周りの人がその人のことを理解し、犯罪が起きたとき、悪い人が悪いことをしたと考えるだけで終わらないようにすることが必要であると私は考えました。なぜなら、保護司のような犯罪者を理解して犯罪者の立ち直りを手助けするような人がいなければ、犯罪者は簡単に立ち直ることができないと考えたからで、悪い人が悪いことをしたと決めつけずに、悪いことをした『過去』を評価する人じゃなくて『今』を評価することが大切だと考えたからです。

「人にはどこかに潜んだ秘めた力がある。」と私は思います。欲望に勝てず、感情のままに動いてしまい犯罪に手を染めてしまったために、発揮できていなかった才能があったかもしれません。さらに、日本の社会にこうけんできる能力や、犯罪を計画・実行するときに得たことも、何かの仕事で役に立つかもしれないと私は思うのです。

一度犯罪を起こしたからといって、差別をしてまた同じように苦しめるのはおかしいと思います。立ち直って、希望が見えてきているかもしれない人にそんなことをすると幸せ感じられずに、心を閉ざした犯罪に走ってしまうかもしれません。そんな人達を助けるのは、『愛』だと思います。誰かを愛し、愛されていると実感できていたら、幸せを感じることもできるだろうし幸せに生きていたら、犯罪なんてしないだろうと思います。

私の愛されていると実感できる相手は家族です。私も家族のことが大好きだし、家族のためであれば私のできることならどんなことでもできます。家族がいるから、家族の悲しむことは絶対にやらないと思えるのです。

みなさんは今幸せですか。私は今、とても幸せです。自分のことも、好きじゃないところもあるけれどきらいではありません。でも、犯罪をする人は、幸せを感じることができていないから犯罪をするんじゃないかと思いました。この社会に不満があって、お金がなくて苦しんでいるから犯罪に手を染めてしまうんだと思います。でも、結局は自分のことや家族のことを大切に思っていたら犯罪はしないんじゃないかと思いました。

私も、家族が悲しむようなことはしたいとは思いません。それは、家族が悲しんだら私も悲しいと思うからです。そんな悲しい世界じゃなくて、誰もが幸せに生きられる世界なら、犯罪が起きることも少なくなり、ひ害者が出ることも少なくなり、みんなが幸せに生きられるんじゃないかと思います。

まずは友達や親せきなどの身近な人に、幸せじゃないと感じる人がいるならほんの少しでもいいから、幸せを届けられたらと思います。そしてこの「幸せ」を、大切にしたいと思います。